

事務事業名	市道宇治三代線道路改良事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	スマートIC整備G	課長名	小村 利之
	施策名	(37)商工業の振興	担当者名	佐藤 俊之	電話番号	0854-40-1064
	目的:対象	商工業事業所(者)			(内線)	2462
	基本事業名	(108)新たな雇用の場づくり	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 3 項目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 7		市道道路整備事業 企業団地関連道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 年度 ~ R2 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
神原企業団地に向かう国道54号からのアクセス道路として、宇治西農道(W=6m)を拡幅(2車線と片側歩道)、線形を改良する。 【整備延長L=1,080m、幅員W=9.75m】

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)			
		・改良工事(L=680m) ・舗装工事(L=1080m) ・移転補償(電柱、上水道)	・歩道工事(L=110m) 歩道部を含めた全面供用予定。			
	車道部を供用開始した。					
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 整備延長	m	400	430	1,080	110
	イ 供用延長(累計)	m	0	0	1,080	1,080
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	市道及び市道利用者	ア 整備計画延長	m	1,080	1,080	1,080	1,080
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	ア 整備率(供用延長)	%	0.0	0.0	100.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
【繰越】	財源内訳	国庫支出金	千円	11,384	63,568	187,703	12,540
工事費 151,914千円		県支出金	千円				
補償費 16,760千円		地方債	千円	124,400	59,800	148,100	8,900
計 168,674千円		その他	千円			4,800	
【現年】	事業費計(A)	一般財源	千円	8,235	3,329	3,161	560
工事費 168,694千円		千円	144,019	126,697	343,764	22,000	
補償費 2,740千円	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
事務費 3,656千円		延べ業務時間	時間	500	1,500	1,500	
計 175,090千円	人件費計(B)	千円	2,039	6,498	6,360		
※合併特例債	トータルコスト(A)+(B)	千円	146,058	133,195	350,124		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
神原企業団地が令和元年度に完成して分譲が行われた。また、加茂BSスマートICの工事に着手された。	設計時に線形や工法検討によるコスト削減を図り事業費の抑制に努めた。	神原企業団地の分譲(令和元年度)に合わせて供用開始を求められていた。今後は早期の全面完成が求められている。

事務事業名	市道宇治三代線道路改良事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		交通量や受益状況から道路規定を決定しているため、向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
	⑩ 1次評価者としての評価結果			⑪ 1次評価結果の総括(根拠と理由)
C 効率性	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
令和元年度に神原企業団地が分譲され、加茂BSスマートICも工事着手された。宇治三代線も早期の全線完成を目指す。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			